

# いろいろ 4年生【7・8月号】

## 社会科見学

7月19日(木)はバスに乗って社会科見学に出かけました。高速道路を使って東京の中心部を通り、東京タワー、レインボーブリッジ、お台場と目的地に近づくにつれてみんなのわくわくする気持ちが高くなっていくのがよく分かりました。ほぼ時間通りに到着して、午前中は【中央防波堤ゴミ処理場】、午後は【水の科学館】の見学をしました。

### 【中央防波堤ゴミ処理場】

今回はゴミの最終処分場である埋立地の見学はできませんでしたが、粗大ゴミを細かく粉碎しているところや、不燃ゴミを分ける作業の様子を間近で見学しました。子どもたちからは、事前に社会の時間に学習したことを目の当たりにして、おどろきと、感動の歓声が上がっていました。その後、風力発電の巨大なプロペラを見学したあと、処理場の職員の方から、中央防波堤の歴史や、ゴミを減らすことの大切さなどをわかりやすく説明していただきました。ゴミを減らす、分別することに対する意識が高まったように思います。

### 【水の科学館】

午後はお弁当を食べた後、水の科学館の見学をしました。普段使っている水道水はどこから来ているのか、水と自然の生き物の関係などを様々なアトラクションや実験を通して楽しく学ぶことができました。子どもたちはまるで遊園地に来たかのように興奮していました。水についての勉強は9月からも引き続き行います。ここでの経験や得た知識を生かして有意義な学習ができればと思います。

この日はとても暑く、子どもたちは大変疲れたと思いますが、体調を崩す子も出ず、帰りのバスの中からは東京スカイツリーも見ることができ、終始大満足の社会科見学になりました。



## 着衣泳

7月20日(金)には服を着て、靴を履いて水の中に入る着衣泳を行いました。夏休みに入り、海や川で遊ぶ機会が増えると、台風や急な集中豪雨などによる事故に遭う可能性も絶対にならないとは言いきれません。そんな「もしも」の時に備えて、服を着たまま水に入ると、泳ぐことはおろか、浮くこともままならないということを体験するのがねらいです。

服を着て水に入った子どもたちからは「全然泳げない!」「動きづらい!」という声が上がりました。とても不安な気持ちになったのだと思います。活動としては、服の中に空気を入れて浮く、ペットボトルを抱えてラッコみたいに浮くと言うように、疲れることなく長時間浮いていられる方法をいくつか行いました。最後には服を脱いで、いつものように水着でプールに入ると、今度は「泳げる!」「体が軽い!」と喜びの歓声が上がりました。この「差」を体感でき、とても良い経験になったことと思います。



## 夏の学習教室

夏休み最初の週には、希望制による学習教室を行いました。(人数に上限があるため、参加できなかった人はごめんなさい…)算数のプリントを全部で12枚行い、中にはパズルのような、迷路のような楽しい問題もあり、みんなとても集中して取り組んでいました。

少ない人数で、しかも教室に先生が4人(学習の様子を見に来た校長先生がいるときはなんと5人!)もいるという中で、わからないことがあったらすぐに質問できる、出来た問題はその場ですぐに○つけをもらえると言う環境を存分に生かしてとても有意義な学習ができたと思います。

## 夏だ! プールだ!

夏休み中は夏季水泳指導が行われました。今年の夏もとても暑く、「毎日がプールびより」で、みんなとても気持ちよさそうに水泳を楽しんでいました。オリンピックでの日本競泳陣の大活躍もあり、選手のきれいな泳ぎを毎日テレビで見ることができ、刺激を受けた子もいるかもしれません。

夏休みが明けても水泳の勉強はもう少し続きます。泳ぎがあまり得意でない子も、友だちや先生に教わって少しでも上達できればと思います。

